

令和2年度 共同生活援助事業実施報告

I、現在、下記に示すように12名の入居者がいる。入居者の年齢は30代が3名、40代が3名、50代が3名、60代が3名である。利用者の高齢化が進み、重度化は年を増すごとに加速している。尿失禁や便失禁をする利用者が増加している。また、大声を上げることや手を上げるなどの暴力行為も見られるようになっている。

すでに支援区分は2が1名、3が3名、4が3名、5が4名、6が1名である。それに伴い、職員も手厚く配置している。朝、夕の食事の支援を行う世話人など、追加の配置基準を取っている。

本年は特に新型コロナウイルスの感染予防の対策に努めた。こまめなアルコール消毒、食前や帰ホーム後の手洗い、嗽の励行。職員や利用者のマスク着用等の対策を実施し、施設内での感染を未然に防いでいる。

3月に女性利用者1名が、登園時に左上腕を骨折するインシデントが発生した。迅速な対応で保護者や医療機関との連携を図り、退院後の現在もリハビリ通院中ではあるものの、経過は良好である。

また、身体や精神等の基礎疾患を持っている利用者が多い為、常に医療的行為は外すことはできない状況にある。職員の観察力の向上が課題の一つである。

- II、入居者
- ・カモミール棟（定員9名）8名（男性5名 女性3名）
 - ・スペアミント棟（定員8名）4名（男性3名 女性1名）
 - ・ショートステイ（定員1名）

III、取り組みに対する結果

1、ホームにて掃除や洗濯、食事（配膳準備等）に関することでは入居者一人一人が責任を持てるよう支援することで、掃除の方法、洗濯物の干し方等、自ら進んで行うようになった。又、洗濯物を干すことが難しい入居者の洗濯物干しを手伝うなど助け合いの気持ちも生まれてきたことはとても素晴らしい事で、グループホームの役割の目的が果たせたように思う。

2、利用者に対する相談

入居者に対する相談援助を行った。利用者会議を月に1回実施。日用品、嗜好品等購入したい物、移動支援を利用していきたい所など希望を聞いた。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり移動支援は満足に行えなかったが、可能な範囲でヘルパーステーションなど他事業とも連携し、資源の活用が出来た。個別に居室や管理人室を利用して相談も行い、訴え、要望等を聞き、早期対応を行った。

3、食事の提供

入居者一人一人に年齢、体重、運動量やカロリー消費量等に応じて、栄養士が献立を作成した。栄養士の指導の下、食事を提供した事により、体重の適正化に繋がった。特に

体重の増加が見られる利用者には、看護師や栄養士にその都度相談し、野菜中心等のメニューに変更を行った。咽込みが増加した利用者には、副食を細かくしたり水分にとろみをつけたりして提供する事で摂食時の咽込みが改善された。

4、入浴、排せつ、食事等の介護

①入浴

毎日支援、対応する事により清潔を保ち、発疹やかき傷の早期対応をした。男性の髭剃りや整髪等身だしなみも整えた。肌が乾燥する11月から4月は、保湿性の高い入浴剤を毎日使用し、乾燥による肌のかゆみや発疹等も減少した。

②口腔ケア

歯科衛生士による歯磨き指導により、毎食後、利用者一人一人に応じた口腔ケアを実施する事で、清潔の維持が出来た。歯科衛生士より口腔内の状態を聞き、必要に応じて保護者への連絡や受診対応を行った。

③排泄

排泄後に呼び出しブザーを押してもらう事で排便の有無や性状の観察ができ、肛門周囲の拭き残しがないように支援を行った。生理の処理が難しい利用者には職員が対応した。排便困難な利用者に対しては、主治医からの指示のもと定期的に看護師が浣腸・摘便を行う事で排便のコントロールが出来るようになった。

5、健康管理

①バイタルチェック

7:00と15:30にバイタルチェックと毎月1回(第1土日)体重測定を実施。また、個別に主治医からの指示で血圧測定も実施している。体調不良者に対しては、施設長や看護師に状態報告・相談をし、病院受診など迅速に対応した。また、毎週月曜日には、看護師が入居者全員の健康状態確認を行っている。

②服薬支援

服薬に関しては、準備をする際に宿直者と世話人とでダブルチェックを行い、服薬後はチェックシートに記入し、誤薬や不投薬のないようにした。又、てんかんがある利用者の服薬に関しては、薬の効果を継続させるため主治医の指示のもと服薬時間を設定し、服薬を行った。

③健康、体力維持

体力維持やストレスの解消として、休日の午後より天候や気温等を配慮し、フライングディスクや散歩を取り入れた。

④健康診断

年に1回の健康診断を実施し、国保や生保の利用者は市民検診、定期受診日を行っている利用者にはかかりつけ医で実施を行うなど積極的に健康確認に取り組んだ。検査結果で要観察者には保護者に連絡をすることでかかりつけ病院の医師につながることができた。

⑤余暇活動

毎月、課外活動、買い物学習・映画等を計画し、又、定期的に買い物外出をした。休日にはスペアミント棟横の自動販売機で本人の希望する商品を購入した。

- ・ 外食（毎月、利用者の希望を調査）
- ・ カモミール・スペアミント合同バーベキュー大会
- ・ ドライブ（花見）
- ・ ケーキパーティー
- ・ 調理レク
- ・ クリスマスディナー

⑥新型コロナウイルス他感染症対策

令和2年2月よりコロナウイルス対策の為、定時（平日は利用者が帰ホームする前、休日は支援員の退勤前）での消毒作業（アルコール、オスバン）を行っている。利用者や職員が触れる場所（手すり、トイレ、ドアの取っ手など）の消毒も行っている。

また、ウイルスを持ちこまないよう、保護者の面会は必要最低限とし、来ホームされた際には玄関先での手指のアルコール消毒をお願いした。結果、新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス等、グループホーム内での罹患者はでなかった。

6、緊急時の対応

令和2年度は、3月にグループホーム内での避難訓練を行った。初期消火失敗の事案での訓練を実施し、避難場所や避難経路の確認を行った。

7、その他

・ 保護者会

今年度は新型コロナウイルス感染予防の為、4月と10月の保護者会は中止となっている。事前に保護者へのアンケートを実施したが、意見等は特に提出されなかった。

IV、利用者支援

- 1、股関節脱臼で歩行困難な利用者（女性）に対して、定期的な排泄への促しで尿漏れの改善（防止）にもつながり、清潔を保つことができた。
- 2、失禁の回数が多い利用者は、定期的なトイレ誘導を行うことで失禁の回数の減少に繋がっている。特に深夜の失禁回数が大幅に減少した。
- 3、夜間、便失禁、尿失禁がある利用者がある。浣腸にて排便コントロールをしている。浣腸時以外の排便は殆どない為、衣類や寝具の便汚染が激減している。
- 4、体重増加が気になる利用者に対しては、食事量のコントロールや余暇時間での運動を行った。その結果、体重減少に繋がり肥満の解消や生活習慣病の予防にも繋げる事が出来た。
- 5、外泊を希望する利用者に対して保護者と密に連絡を取り本人の希望に添えるよう努めた。定期的な外泊が出来る事で、ホーム内でも落ち着いて生活されている。